

学校教育目標	学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成)					
	子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。 * 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知) * 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体) * とともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)					
学校概要	創立 32 周年	学校長	横田由美子	副校長	河野正美	3 学期制
	児童生徒数: 300 人	主な関係校: 高田小学校 高田東小学校				
一般学級: 9		個別支援学級: 2				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	高田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働的に次代の社会をつくる力 自己肯定感・自己有用感 言語能力 情報活用能力	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 ・校長ランチミーティング・12人会議・90人会議を通して、小中一貫教育の更なる推進。 ・「豊かな表現力の育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進。 ・高田中ブロック「資質・能力ベース カリキュラム」の作成

中期取組目標	<p>○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。</p> <p>○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。</p> <p>○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にし合い、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指します。</p> <p>○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。</p> <p>○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。</p>
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①全国・市学状や生徒向け授業アンケートの集計結果と経年変化の分析をもとに、授業改善と、「わかる」「主体的・対話的・深い学びができる」授業につながる工夫とを行う。②小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研修会を活用し、3校で研究を推進する。
担当 各教科・小中一貫教育	
豊かな心	①自他を尊重し、よりよい社会の実現にむけて実践できる生徒の育成を目指し、道徳授業の研究を推進する。②教職員の指導力向上を目指し、様々な人権問題について考え・議論する研修を実施する。③行事や日々の活動を通して人権意識、自己肯定感と自己有用感、コミュニケーション力とを育てる。
担当 学習指導部	
健やかな体	①健康教育や学校保健委員会、食育などを通して、生徒が心身の成長や健康について関心を持ち、自ら健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育や部活動を通じて、生徒が体力や運動習慣について理解を深め、自ら体力向上や運動習慣の改善を目指すように助言をする。
担当 保健安全美化指導部・保健体育科	
生徒指導	①一人ひとりの心情に寄り添った生徒指導の充実を図るため、生徒指導部による職員研修を実施し、全職員の生徒への積極的な関わりと生徒理解に努める②特活指導部などと連携し、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりや社会の一員としての意識の醸成のための支援をする。
担当 生徒指導部・特活指導部	
特別支援教育	①保護者と連携し、特別な支援を必要とする生徒に、「個別的教育支援計画」を作成し、「指導計画」にもとづいた支援を行う。②発達特性やその効果的なかわりについて研修会を実施、教職員の理解と実践力を高める。
担当 特別支援教育	
地域連携・学校運営協議会	①経年変化や小中一貫ブロックでの考察ができるよう学校評価アンケートを精査する。②学習支援ボランティアなど、地域・社会の教育力を活用して、教育活動の充実を図る。③地域交流を無理なく計画的に実施できるよう工夫し、活動を地域の子どものための自覚や自己有用感の醸成に活かす。
担当 管理職・専任・教務主任	
公共心と社会参画	①各分野における学習内容を、実社会や実生活と関連付けることで、生徒の身近な出来事や社会問題への関心を高める。②キャリア教育(職業講話・職場体験学習・進路学習)などを通して、生徒が社会的・職業的自立に向けて、自分の役割と責任を自覚し、行動する力を醸成する。
担当 特活指導部・学習指導部・各教科	
学校安全	①学校内の施設設備・器具の点検を行うことで危険箇所の抽出をし、施設面の配慮をし、安全の指導を徹底することで校内事故防止に努める。②危機管理・アレルギー対応などの職員研修を実施し、行動及び確認体制の強化を図る。③よりよい教育環境を通じ安心安全快適な学校を目指す。
担当 保健安全美化指導部・生徒指導部	
いじめへの対応	①定期的に実施する教育相談や月1回実施する生活アンケートを活用し、生徒一人ひとりの細やかな変化を見逃さない体制をつくり、いじめの早期発見・早期対応に努める。②初期対応を丁寧に行う。③定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、事案の経過確認を行い、再発防止に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①授業を学び合い、授業力向上に向けた意見交換が活発にできる、風通しのよい職場環境を築いていく②研修参加や適時性のある情報の提供など、職員が自ら広く学ぶ機会を設ける。③ICTを活用した業務効率化と全職員参加での業務スリム化検討とを図る。④「報告・連絡・相談」体制が確立した全教職員参加型の組織運営を行う。
担当 管理職・主幹教諭	